

平成 30 年 1 月 11 日

学校活性化アンケート結果について

尼崎市立下坂部小学校

校長 浅田 宗良

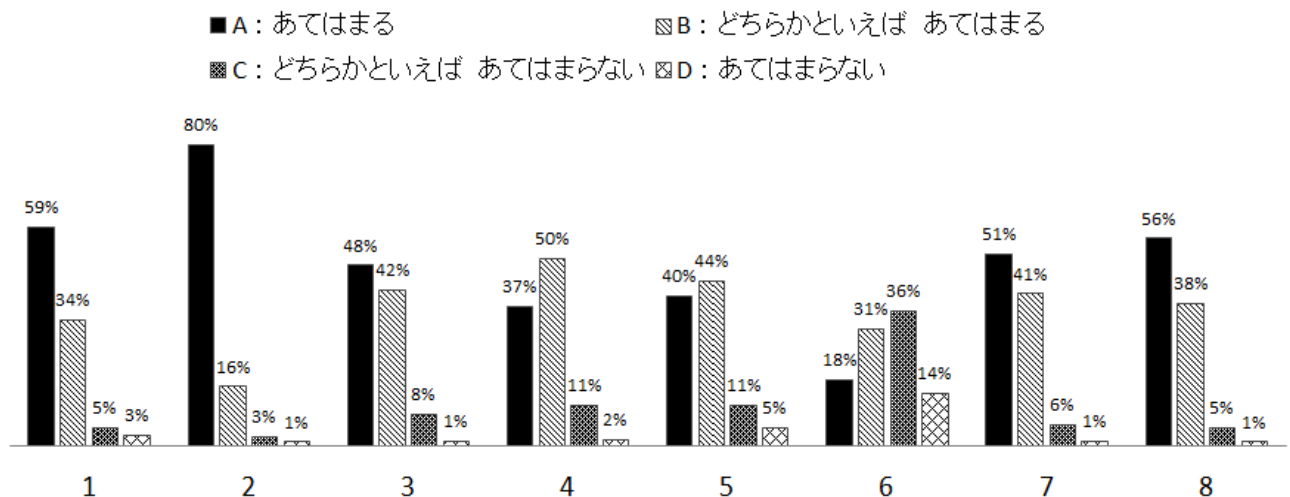
昨年末に保護者の皆様をお願いいたしました、「学校活性化アンケート」の結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。結果は、全学年まとめたものを棒グラフに表しています。

I 教育活動に関すること

【質問項目】

- 1 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。
- 2 子どもは友達がいると言っている。
- 3 子どもは授業がわかると言っている。
- 4 子どもはあいさつや返事がよくできている。
- 5 子どもは先生に気軽に話したり、相談したりすることができる。
- 6 子どもは、家で学校の授業の予習や復習をしている。
- 7 先生はまちがった行動について子どもによくわかるように指導をしている。
- 8 先生は子どもとよくふれあっている。

【結果】

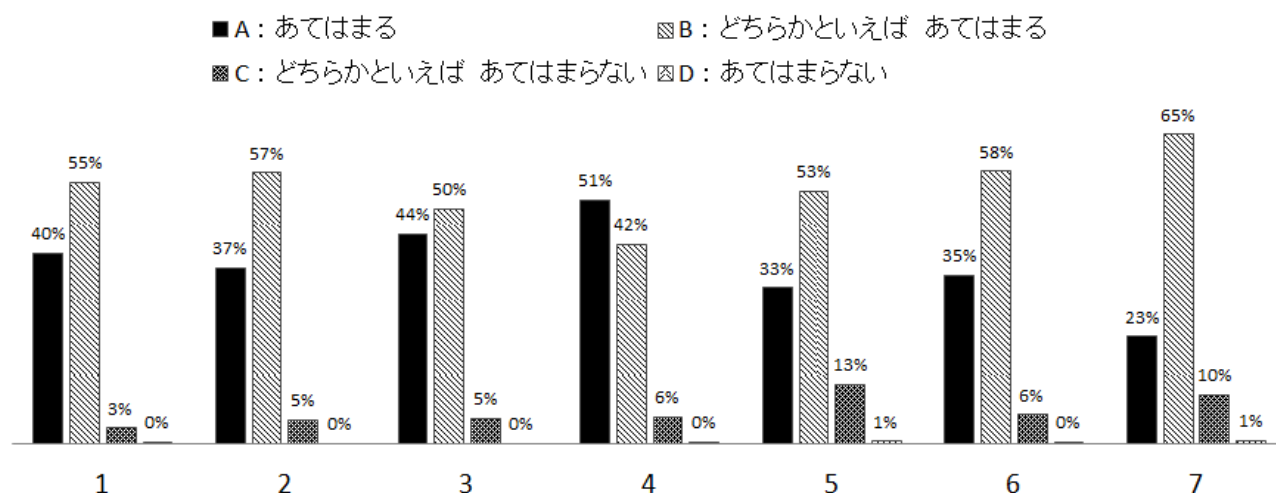


質問項目 1 と 2 については、大部分の子どもたちについては、学校へ来ることを楽しみにし、友達もいると感じていることがわかりました。しかし、学校へ行くことが楽しくないと感じ、友達もいないと感じている方もゼロでは、ありません。学校としては、そういったお子さんをかかえる保護者の方々については、学校だけでなく、場合によっては、専門機関とも連携しながら、子どもたち一人一人の成長を見守っていきたいと考えています。次に、質問項目 6 についてですが、本校の子どもたちについては、保護者の協力もあり、宿題をしっかりとやってくる習慣がついています。しかし、これからの時代を生きていく子どもたちには、自ら学ぶ姿勢、学びに対する主体的な姿勢が求められています。予習や復習など、主体性を発揮する学びの姿勢の育成については、今後、学校だけでなく、保護者の子どもへの接し方、声かけの仕方等についても考える機会を持つ必要があるのではと考えています。

II 学校経営に関すること

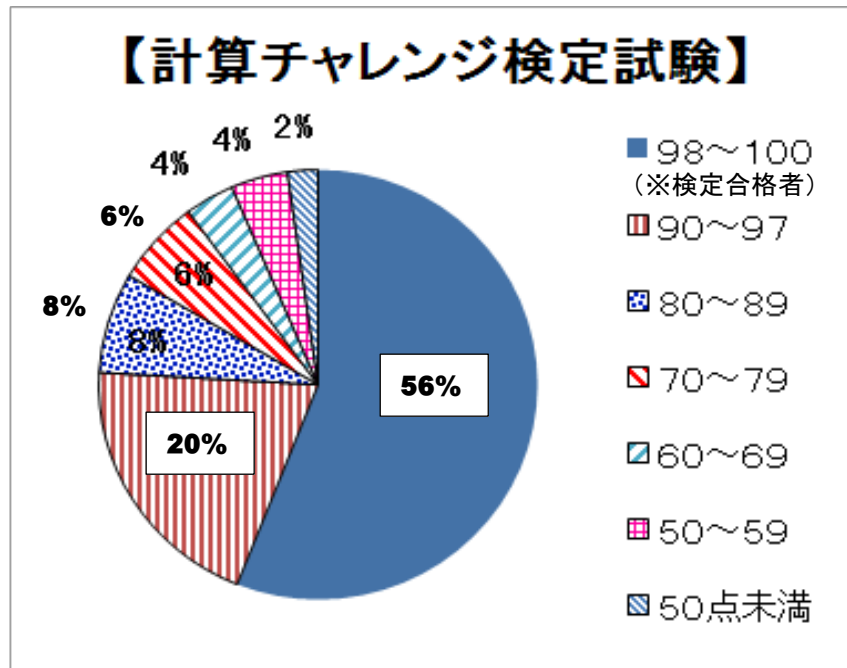
【質問項目】

- 1 学校は子どもの学力をつける取り組みをしている。(朝読書・授業改善等)
- 2 学校は、「ほんもの」に学ぶなど体験活動や環境体験などの行事を通して、心を育てる取り組みをしている。
- 3 学校は体育や行事等、年間を通して子どもの体力向上を図っている。
- 4 学校は校内の行事や出来事等を、学校ホームページやお便りを通して家庭に知らせている。
- 5 学校は学力向上と心の教育の充実についての取り組みを保護者に知らせている。
- 6 校舎内の掲示や校舎内外の掃除が行き届いている。
- 7 学校は地域・保護者との連携を図り、特色ある教育の推進を図っている。



学校経営に関する質問項目では、概ね良い評価をいただいています。ただ、質問項目1、5に出てきている「学力」という言葉については、少し説明を付け加えておきます。一般的に「学力」＝「教科の成績」「テストの成績」と考えておられる方が多いのではないかと思います。しかし、現在の「学力」に対するとらえ方は「知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたものである」と文部科学省は規定しています。そのような「学力」のとらえ方を理解したうえで、本校でも、「学力向上」に取り組んでいます。例えば、どの学年も下小スタンダードと名付け、授業では「めあて（今日の授業で学習する目的や内容）」の提示、授業の最後には「ふりかえり（今日学習したことで、何がわかり、何ができるようになったかを文章で表し、自分で確認する作業）」の実施、授業スタイルとして「ひとり学び」「ペアトーク」「班での話し合い」等を取り入れています。

質問項目2については、全国的な調査から、「自然体験、社会体験、生活体験など子どもたちの学びを支える体験が不足し、人やものとかかわる力が低下していることが明らかになっている」という課題があります。本校でも、それらの課題解決のために、3・4年生での「環境体験」、5年生での「自然学校」をはじめ、各学年での社会見学や、各教科の中での実習など、様々な体験や経験を持つ機会をつくっています。また、「近松デー」をはじめ、「ほんもの」に触れ合うことにこだわり、様々な体験活動を取り入れています。そうする事によって、子どもたちの豊かな心が育つことをねらいとしています。これからも、体験活動については、一層、充実させていきたいと考えています。



今年度より学校全体の取り組みとして、算数科学習の基礎となる計算力の定着・習熟を図るため、基礎基本の時間を活用し、5分間で100問（1年生は50問）の計算問題（下小計算チャレンジ）に取り組んできました。そのまとめとして2学期末に検定試験を行いました。

1学期始めのころは半分ほどしかできなかった児童も多く見られましたが、継続して取り組むことで計算力・速度を高めていくことができました。今回合格した児童も、惜しくも合格できなかった児童も、自己の成長を知ることができ、児童一人一人の自信になったものと思います。また、学習に対する意欲を高めたり次への目標を持ったりすることにもつながりました。

今後も下小計算チャレンジは継続して行っていくしますので、ご家庭でも励ましをお願いいたします。

【保護者へのお願い】 学習習慣を定着させるためにも、引き続き、ご家庭でのご協力をお願いします。児童の「やる気」スイッチが入るような「声かけ」を心がけてみてください。

◎「早寝・早起き・朝ごはん」の推進！

月初めの1週間に、朝の健康観察で確認しています。

◎学習用具は、そろえて学校へ！

たまに、筆箱の中身をのぞいてみてくださいね。

使いやすい筆箱にえんぴつ5本・赤鉛筆（3年生以上は赤ボールペン可）1本・消しゴム・マイネーム・定規（15cm程度の使いやすいもの）を！名前も忘れずに！

◎自主学習の推進！

どんな自主学してる？がんばってるね！と励ましてあげてください。

毎日、自分で考えた課題（年度当初に配布した「学習の手引き」を参考にしてもよいですね。）に取り組む、自ら学ぶ姿勢と家庭での学習習慣をつけさせましょう。

◎宿題3点セット（音読・計算・漢字）

「〇の字がしっかり書けてるね」などの声かけをお願いします。

宿題で授業の復習や基礎的な力の定着をさせましょう！